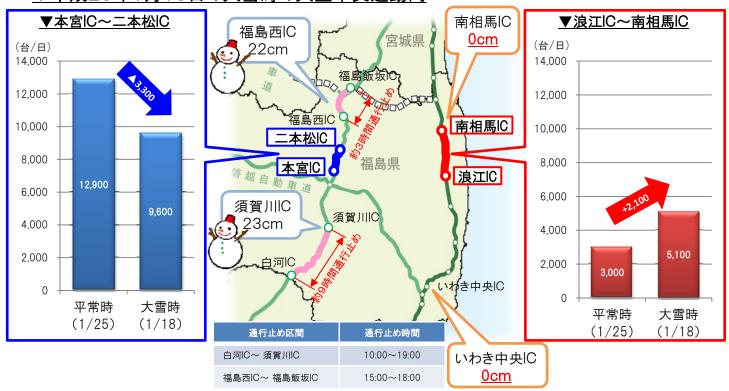
常磐道と東北道によるダブルネットワーク効果の発揮

- ■福島県浜通り地方は降雪が少なく、安定した気象状況
- ■冬期の常磐道は東北道に対し速達性に優れるとともに、移動時間の信頼性が高い路線
- ■H28.1.18大雪による東北道通行止め時、常磐道の大型車交通量が平常時に比べ約2,100台増加し、 代替機能を発揮

▼平成28年1月18日の大雪時の大型車交通動向



【出典】交通量:NEXCO東日本データ 各ICの数値:H28.1.18の累計積雪深(NEXCO東日本調べ)

冬期の常磐道は速達性に優れているとともに、移動時間の信頼性が高い路線

▼常磐道・東北道の所要時間構成割合の変化 【出典】プローブデータ(H28.1.1~H28.1.31) 194分 196分 242分 20% 分のばらつき 常磐道 48分のばらつき 東北道 15% 言頼性も向上 余裕を見込んだ 所要時間が 21 年平均 (小名浜) **13分**短縮 降雪日数 10% 東北道 (日/年) 73 (福島市) 5 速達性向上 年平均 (小名浜) 降雪深 6分短縮 5% 東北道 (cm) 129 東北道 0% 240 上位10% 80 250 260

所要時間:右記の区間における下り方向で所要時間データ(プローブデータ)を 算出し、5分間間隔で所要時間の頻度を表示 東北道(川口JCT〜仙台南IC) 約327km 常磐道(三郷JCT〜仙台若林JCT) 約316km 所要時間(分)